

# 事業報告

## 令和2年度 教育事業

### 幼児キャンプ～森の中へGo!!～

令和2年10月17日(土)・18日(日)

【対象】年長児

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

#### ～趣旨～

豊かな自然の中での遊びを通して幼児期に身につけたい多様な動きを獲得し、感性を高めるとともに基本的な生活習慣の基礎を育む機会とする。

#### ～主催～

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

#### ～活動日程～

	9	10	11	12	13	14	15	16
10/17 (土)								
10/18 (日)		受付	開会式	ピザをつくって食べよう (野外炊飯)		森であそぼう (自然体験)	閉会式・解散	

#### ～参加者～

17日(土) 男子：4名 女子：7名 計：11名

18日(日) 男子：8名 女子：6名 計：14名

#### ～活動トピックス～

##### 活動Ⅰ ピザをつくって食べよう

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

お昼ごはんはみんなで協力してピザを作った。玉ねぎやベーコンなどの具材を切るのも、ピザ生地をこねるのも、生地にソースをぬって具材を盛り付けるのもすべて自分達の手で行った。最初はおそろおそろやっていたが、時間がたつにつれてどんどん自信に満ちた表情に変わっていき、1枚だけでは物足りない様子で、もっとたくさんのピザを作りたいという声も聞かれた。どの班もとても上手にピザを焼くことができ、自分が作った焼きたてピザをおいしそうに頬張っている姿が印象的で、たくさんの笑顔を見ることができた。





## 活動Ⅱ 森であそぼう

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

自然の家周辺で拾った木の実や枝、葉っぱなどの自然物を使って、ハロウィンのお面作りに挑戦した。一日目は雨で外に出ることができなかったが、二日目は外を散策して自分達で拾ってきたものも使って、世界に一つだけのオリジナルのお面を作った。保護者への事後アンケートには、「作った作品を幼稚園の先生に見せていました」というコメントもあり、お家に帰ってからもこのキャンプで体験したことを話すきっかけになった。



### ～参加者の声～

#### 《参加児童》

- ピザを作るのも食べるのも楽しかった。
- 初めてマシュマロを焼いて食べるのができて楽しかった。
- 全部楽しかった!! (ピザ作り、マシュマロ、お面作り、ゲーム)

#### 《保護者》

- 最初は本人も親も不安がありましたが、「すごい楽しかったよ！行ってよかったー！」と帰ってきた姿を見て、行かせてよかったと思いました。子供にとって「自分はできるんだ」という自信につながったことが何より嬉しいです。
- あいにくの天候でしたが、気遣い頂いた温かいスープが子供ながらに心に沁みた様です。洗い物のお手伝いを出来た事もとても自信になった様です。
- 野菜を切ることを覚えたり、家でもピザを作ったり、教えていただいたことを嬉しそうに話してくれ、一緒にやってみました。包丁も買って使わせるきっかけになりました。体験できて良かったです!!

### ～成果と課題～

- 自然の中での遊びと、野菜を切ったり自然物を拾ったりという、直接手で触れる体験を通して子供達の感性を高める機会を提供することをねらいとした。当日は子供達にたくさんの体験の場を提供することができ、本事業の趣旨を達成することができた。保護者への事後アンケートでは、そうした体験を通して「やれた！できた！という自信をつけて帰ってきた」というコメントを得ることができた。
- 今年度は、コロナ禍の中での実施となり応募が集まるか心配であったが、実際には応募者多数により抽選となった。保護者への事後アンケートからは、こうした事業への参加機会を求める声がみられ、少しでも多くの方が参加できる機会を作るという観点からすれば、今年度のように日帰り事業として実施していくことも視野に入れて検討していきたい。